

とうきょうすくわくプログラム 活動報告書

園名	社会福祉法人みのり愛 みのり保育園
年間テーマ	五感で楽しむ
活動日時	令和6年11月28日(木)
クラス	赤組(3歳児)、緑組(4歳児)、青組(5歳児)

1. 活動のテーマ

<テーマ> 『色』 ～身近な素材を使った、彩り豊かな表現遊び～

<テーマ設定の理由>

9月の芸術祭を経験し、光を通して色と色の重なりや光の変化に興味がいよいよ深まった子どもたち。

色の不思議は光から絵の具へ、芸術祭で使用した廃材や自然物等身近な素材を使用したスタンプングを通して形の楽しさ、素材の楽しさを体感する。

2. 活動のスケジュール

子どもたちがのびのびと活動出来るよう、講師を招いたワークショップを計画

3. 環境のデザイン

活動のために準備した素材や道具、環境の設定

白い布キャンバス(3m)、ブルーシート、アクリル絵の具、タライ
スタンプング用廃材(段ボール・ペーパー芯・落ち葉・エアクッション)

5. 振り返り

<振り返りによって得た保育者の気づき>

芸術祭で光をテーマに行った際は普段は見えない『光』に色がつくことや、光を通すことで視界が変わることを感じていた。今回絵の具で混色を体験したことで目の前で色が変化の様子を目の当たりにし新しい発見や気づきを得られているようであった。スタンプングにより、絵の具をつけたものがそのままの形で表現される楽しさを味わう様子もみられた。幼児クラス全体で活動を行えたことも芸術祭の時のように『みんなで作り上げた』という追体験となり良かった。

4. 探究活動の実践

活動中の子どもの姿や声、子ども同士や保育者との関わり等

<活動内容>

白いキャンバスを廃材スタンプや全身を使って彩り、スタンプの形や色の重なりを楽しみながら感じる

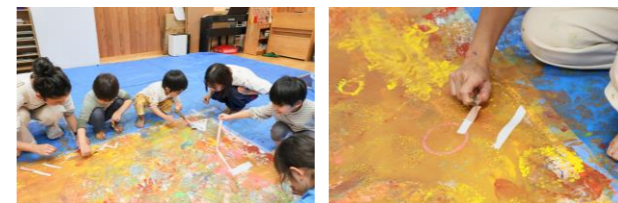
- ・ 白く大きなキャンバスを前に「これから何をやるんだろう？」 「すごく大きいね」と互いに話しながら期待にあふれる表情が見られた。
- ・ 絵の具を使いたくさん色を重ねていくという説明を受けると「えー！良いの？」 「いっぱい塗りたい！」と、意欲的な姿が多く見られた。
- ・ 机に並んだ様々なスタンプを順番に眺め、じっくりと見比べて選ぶ子や友だちと「どれにしようか」と相談をしながら選ぶ子、友だちが選び終わるまで様子を見る子等選び方に個性が見られた。



- ・ 始めは控え目にスタンプングをしていた子どもたちであったが、試行錯誤を重ねる様子があった。
- ・ 異年齢児合同であった為、年長児が行う姿を3歳児が模倣したり5歳児から「これ、使う？」と3歳児に自分の使っていた物を渡したりする姿があった。
- ・ 3歳児の中には手足に絵の具をつけることに若干の抵抗がある子どももいたが、友だちが両手両足いっぱい大胆に色をつけたり、別の子が更に上から違う色を塗ってみたい様子を見て挑戦する姿が見られた。



- ・ キャンバスにたくさんの色が重なると、講師よりキャンバスにある仕掛けを協力して見つけるよう伝えられ、子どもたちは驚きながらも視線を低くし、真剣な眼差しで仕掛けを探していた。



- ・ 全ての仕掛けを見つけると『みのりほいくえん』の文字やたくさんのイラストが浮き出た。
- ・ キャンバスを見て「すごいね！」 「魔法かな？」と子どもたちは不思議そうな表情でじっと眺めていた。

